

**第 51 回（2020 年度）
三菱財団社会福祉事業並びに研究助成
応募要領**

1. 助 成 の 対 象

①事業・研究の内容

- イ． 事業 ： 現行制度上、公の援助を受け難い、開拓的ないし実験的な社会福祉を目的とする民間の事業（原則として法人に限る）。
- ロ． 調査研究 ： 開拓的ないし実験的な社会福祉に関する科学的調査研究（個人・法人いずれも可）。

- 〈注〉 1 ここでの“開拓・実験性”とは、新たな視点に基づき展開される社会的意義のある事業ないし研究で、類似例への適用や普遍化の可能性につながるもの、等を想定しています。
- 2 “事業”においては、公的援助が得にくく、社会的意義があり、他地域への発展・普及の可能性のある活動、もしくは福祉現場における“地域性・個別性”が高い活動、あるいは“実践的、草の根的”な活動に基づくものについては、“開拓・実験性”に拘らず、採り上げることもあります。
- 3 外部委託が著しく、研究者・事業者の主体性が損なわれるような研究・事業は、助成対象となりません。
- 4 “調査”については、倫理、個人情報保護等の法規定や精神を十分に踏まえたものであることの説明が必要です。

<連携・協働型について>

なお、上記「イ．事業」「ロ．調査研究」の中でも、研究者と社会福祉事業者／活動者等、または異なる専門領域の複数のメンバーの方がチームを形成し、同一の社会課題に対し、より多角的に、ダイナミックに挑戦する提案型の応募（以後、「連携・協働型」と呼びます。）も期待します。「連携・協働型」の応募につきましては、助成金額、期間等について、より柔軟に対応します。

具体的には、下記の類型 1.または 2.にあてはまる応募内容の場合、助成申込書作成時に「連携・協働型」の該当欄にチェックを入れ、申請して下さい。なお、「連携・協働型」にあたるか否かについてはホームページにあります「連携・協働型について」を参考の上、ご判断下さい。

1. 研究・事業活動連携型

一つの社会課題に対し、研究者と社会福祉事業者／活動者がチームを組んで、各々の役割分担を明確にし、各々が有するノウハウ、経験を結集することで、より有効で具体性のある解決策を求めるものいわば研究と実践の壁を取り払い、一気通貫で課題解決の糸口を探る取り組み（チームに、研究者の方と社会福祉事業者／活動者等の双方が含まれることが条件となります）。

2. 複数領域協働型

一つの社会課題解決のために、複数の領域の専門家がチームを組み、課題を多面的に捉えることで、一研究者では成し得ない奥行き感のある成果を期待するもの。

また、社会福祉事業者の場合、種々の枠組みにチャレンジし、よりダイナミックなアプローチを可能とするチーム形成もあるかと考えます。既成概念を破るチャレンジに期待します（同じ研究分野の研究者によるチーム、または同じ業種の事業者によるチームは本類型には含まれませんのでご注意ください）。

応募される案件が上記「連携・協働型」の場合、必ず助成申込書において上記類型の「1. 研究・事業活動連携型」または「2. 複数領域協働型」のいずれで応募するか申告し、併せて「チームの体制」欄にチーム構成を入力して下さい。

②申込者の資格一般

- イ. 日本国内において事業ないし研究の継続的拠点を有するもの（国籍等は不問）。
- ロ. 営利企業等並びにその関係者は、代表研究者、申込法人・団体、協同研究者、実施担当者・関係スタッフ等になれません。
- ハ. 代表研究者、協同研究者、申込法人・団体及びその代表者、実施担当者・関係スタッフは、本財団の同一年度の助成に複数応募することは出来ません。従って、代表研究者や申込法人・団体の代表者が（他分野も含め）他の応募案件の協同研究者や実施担当者・関係スタッフを兼務したり、協同研究者、実施担当者・関係スタッフが他の応募案件の協同研究者、実施担当者・関係スタッフを兼務することも出来ません（協同研究者、実施担当者・関係スタッフの方には上記の確認も含め、必ず了承を得ておいて下さい）。
なお、複数応募が判明した場合は、失格とさせていただきます。

2. 助成の概要

①助成金額

社会福祉事業・研究助成において、本財団設立 50 周年記念特別助成として、2019 年度及び 2020 年度の 2 ヶ年については、助成金額総額を 2018 年度より 1,000 万円増額し、総額 1 億円とする予定で、本年度はその 2 ヶ年目となります。1 件宛の金額は特に定めません。

②助成金使途

助成金の使途は下記の通りとします。

- イ. 調査研究費
- ロ. 施設費（建設、設備）
- ハ. 施設以外の経費（職員研修費等を含む）

（注）

1. 単なる施設建設、設備・機器購入等のみを目的とした申込は対象外とします。
2. 事業のスタートアップ資金の場合、助成期間終了後の事業継続可能性が明示されることを条件に、一部経常的資金への支援を認めることがあります。

3. 実施担当者・関係スタッフ・協同研究者については代表研究者・申込代表者と同様、謝金の支払いは認められませんが、旅費等の支払いは可能となります（事業への協力者、研究補助者等への謝金は認められますが、旅費等の支払いは認められません）。
4. 代表研究者・申込代表者に、助成金使用に係わるすべての管理責任を持って頂きます。
5. 事業・研究の実施者が所属する組織の間接経費・一般管理費等も助成の対象外となりますのでご留意下さい。

③助成期間

助成決定から1年を原則としますが、事情により2年間にわたる使用も認められます（2ヶ年度分の助成申込を一括査定し、助成金は2ヶ年で使用されることとなります）。

④選考協力等

所定の申込書、資料に加え、更に詳しい書類等の提出をお願いしたり、面接、現地訪問等をさせて頂くことがあります（ご提出頂いた資料等は返却致しかねますので、あらかじめご了承下さい）。なお、2020年度につきましては候補者の方には4月中旬頃に面接を予定しております。面接対象となられた方には、2020年3月27日（金）までにメールでご連絡させていただきます（面接対象となられなかった方へのご連絡はありません）。

⑤助成決定時の義務・条件

- イ. 選考の結果、助成対象者となられた場合は、財団所定の「助成承諾書」を別途提出頂き、これにより事業・研究の経過あるいは完了報告、収支会計報告、その他使途変更事前相談手続等の義務を負って頂く事になります。
- ロ. 事業・研究の経過・完了報告については、その一般公開についての同意をお願い致します。
- ハ. 助成金贈呈式を2020年9月10日（木）に予定しています。贈呈式には助成金受領者ご本人にご出席頂くことになります。原則、代理出席は認めておりません。

3. 選考方法・結果通知等

①選考方法

財団委嘱の下記委員からなる選考委員会において慎重審議の上、その答申案に基づき、2020年6月開催予定の財団理事会において正式決定されます。なお、審査の進捗状況についてのお問い合わせには、回答致しかねますので、ご了承下さい。

（選考委員）

水田 邦雄（委員長）	芳賀 信彦
佐藤 敏信	妻鹿 ふみ子
福岡 寿	山野 則子（敬称略）

（専門委員）

助成申込の内容によっては適宜専門委員を委嘱します。

②結果通知等

- イ. 結果は決定後すみやかに申込者各位宛にメールで通知されます。なお「助成先一覧」は、本財団インターネットホームページ上に掲載するほか、各種福祉関係広報資料（福祉新聞・社協ニュース等）にも掲載を依頼致します。
- ロ. 採否の理由についてのご照会には一切回答致しかねますのでご了承下さい。

4. 応 募 期 間

2019 年 12 月 26 日(木) ～ 2020 年 1 月 23 日(木) 午後 5 時

* 上記応募期間内にのみ応募は可能です。なお、応募締め切りの直前は、Web システムの回線が混雑して送信できない可能性がありますので、お早めにご応募下さい。

5. 応 募 方 法

応募にあたっては、別冊「応募手順」に基づき、本財団インターネットホームページ（以下、本財団ホームページ）上の Web システムでマイページの登録のうえ、手順に従って Web システムで応募して下さい。

[ホームページアドレス] <https://www.mitsubishi-zaidan.jp>

<応募手順>

- ① マイページの登録
- ② 「助成申込書」の入力・作成
- ③ 「助成申込内容」の作成及びアップロード
- ④ 「最重要論文」のアップロード
- ⑤ 定款・寄附行為等のアップロード（法人・団体申込みで法人格のある場合）
- ⑥ 所属機関長の承諾印（個人申込みで所属機関のある場合）
- ⑦ 応募申請と受付の確認

<ご注意>

- * 本財団ホームページ上の Web システムでの申請のみで応募は完了となります。
（電子メール、郵送、ご来所、FAX による応募は受け付けておりません。）
- * 応募完了後は助成申込書、助成申込内容、論文の修正・差し替え等は一切できませんので、応募の申請にあたっては必ず内容をご確認下さい。
- * 「ご応募の際によくある質問と回答」を本財団ホームページ上の「応募 Q&A」に掲載していますので、ご参照下さい。

なお、Web 操作に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

Tel. (03) 3626-1307 (平日 午前 9 時～午後 5 時)

E-mail. mitsubishi-zaidan@yoshida-p.co.jp
(ヨシダ印刷株式会社 三菱財団サポート担当)

6. 個人情報取扱いについて

- ①個人情報は利用目的の範囲内で、かつ業務遂行上必要な限度内で利用致します。
- ②法令等の定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく個人情報を第三者に提供致しません。

7. 反社会的勢力からの応募について

反社会的勢力および反社会的勢力と関係すると認められる個人もしくは法人からの応募は受け付けられません。

【お問い合わせ先】

公益財団法人 三 菱 財 団 事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 2 丁目 3 番 1 号 (三菱商事ビル 2 1 階)
Tel. (03) 3214-5754
Fax. (03) 3215-7168
E-mail. info@mitsubishi-zaidan.jp

追記 参考資料として、本財団第 48 回以降 (過去 3 年度) の助成先一覧を添付します。
応募件数と同金額は以下の通りです。

2017 年度 217 件 739 百万円
2018 年度 232 件 748 百万円
2019 年度 260 件 897 百万円

以 上

2019 年 11 月

公益財団法人 三 菱 財 団

第48回（平成29年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	宮崎県	宮崎大学工学部 准教授 李 根浩 (い ぐんほ)	高齢者における歩行・起立着座の動作アシストを目的とした下肢動作支援機の研究開発	2,100,000円
2	東京都	一般社団法人日本摂食障害協会 理事長 生野 照子 (いくの てるこ)	摂食障害患者の就労実態調査と社会復帰支援	2,000,000円
3	徳島県	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 助教 伊藤 伸一 (いとう しんいち)	特別な訓練を必要としない意思を伝達するブレイン・コンピュータ・インタフェース開発のための基盤研究	1,500,000円
4	大阪府	特定非営利活動法人 働く者のメンタルヘルス相談室 理事長 伊福 達彦 (いふく たつひこ)	自死遺族自助グループとの協働と自死を考えるパネル展から見てきた自死予防モデルの構築	2,000,000円
5	東京都	東洋大学社会学部 助教 岩田 千亜紀 (いわた ちあき)	高機能自閉症スペクトラム障害(HF-ASD)圏の母親に対する解決志向アプローチ型ワークショップの開発および効果検証	800,000円
6	東京都	東京大学先端科学技術研究センター 准教授 巖淵 守 (いわぶち まもる)	保護者による日常的な観察を通じた重度・重複障害児の実態把握とコミュニケーション支援に向けた調査研究	2,500,000円
7	熊本県	熊本大学生命科学研究部 教授 宇佐美 しおり (うさみ しおり)	大規模災害後の看護職離職防止プログラムおよび人材育成トレーニングプログラムの開発	1,500,000円
8	東京都	聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授 大田 えりか (おおた えりか)	就労女性のプレコンセプショナルケアのための包括的介入パッケージの開発	2,700,000円
9	京都府	京都大学大学院医学研究科 准教授 大鶴 繁 (おおつる しげる)	多職種連携による、災害時の病院被害に関する実態把握と事業継続計画(BCP)に基づく“病院避難”意思決定支援モデルの開発	2,700,000円
10	神奈川県	相模女子大学人間社会学部 教授 尾崎 康子 (おざき やすこ)	自閉症スペクトラム障害の社会的コミュニケーション発達を促すペアレントプログラムの効果検証と社会的普及	2,500,000円
11	大阪府	大阪大学大学院医学系研究科 准教授 蔭山 正子 (かげやま まさこ)	精神障害者の家庭内暴力解消に向けたインターネット学習プログラムの開発ー障害者発のユーモア交えた動画ー	4,000,000円
12	神奈川県	公益財団法人 横浜市男女共同参画推進協会 理事長 川名 薫 (かわな かおる)	若年無業女性の就労体験修了者追跡調査とプログラム検証および支援モデルの提示	1,800,000円
13	神奈川県	聖マリアンナ医科大学予防医学教室 講師 木村 美也子 (きむら みやこ)	障がい児の親が被災時に遭遇するネガティブサポートの実態とその影響に関する研究	2,000,000円

(代表研究者50音順、以下同じ。)

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	京都府	同志社女子大学現代社会学部 教授 日下 菜穂子 (くさか なほこ)	幸福の生活習慣をサポートするハートフル・ロボットの開発による長寿時代のコミュニティ形成	2,700,000円
15	神奈川県	特定非営利活動法人スローレーベル 理事長 栗栖 良依 (くりす よしえ)	障害者の心身の機能向上のためのトレーニングプログラム(メソッド)の研究開発と普及活動	4,200,000円
16	東京都	上智大学グリーンケア研究所 特別研究員 小高 真美 (こだか まなみ)	地方自治体等における自殺予防のためのゲートキーパー研修を科学的に評価するためのツールキットの開発研究	2,400,000円
17	広島県	広島文教女子大学教養教育部 特任講師 小原 寿美 (こはら ひさみ)	外国人介護看護人材の学習継続とキャリア形成に及ぼす影響に関する研究	2,200,000円
18	北海道	北海道大学保健センター 講師 齋藤 暢一朗 (さいとう ちょういちろう)	長期ひきこもりを抱える家族の心理的リソースを促進する包括的アプローチ	1,500,000円
19	神奈川県	一般社団法人てとて リンクよこはま訪問看護ステーション 作業療法士 崎本 麻衣 (さきもと まい)	精神障害者のリカバリーと生活の困難さの関連の検証	2,000,000円
20	東京都	東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム 研究副部長 島田 千穂 (しまだ ちほ)	超高齢者の治療の選択に伴う倫理的課題; 地域包括ケアシステムにおける急性期医療のあり方	1,200,000円
21	茨城県	筑波技術大学保健科学部 准教授 嶋村 幸仁 (しまむら ゆきひと)	視覚障害者目的地誘導システムに関する実証研究	2,000,000円
22	東京都	芝浦工業大学工学部 准教授 菅谷 みどり (すがや みどり)	生体情報計測による感情推測を制御に反映した高齢者向けリハビリ促進のロボットの研究開発	2,400,000円
23	東京都	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 流動研究員 鈴木 浩太 (すずき こうた)	発達障害児・者をもつ家族に対する支援法の提案—家族レジリエンスに着目して	900,000円
24	東京都	成蹊大学理工学部 教授 鈴木 誠一 (すずき せいいち)	全盲の方の生活に潤いをもたらし、外出のモチベーションを高める為の聴覚VR技術応用支援システムの研究開発	2,600,000円
25	三重県	鈴鹿医療科学大学保健衛生学部 准教授 鈴木 亮子 (すずき りょうこ)	震災時における認知症の人と家族への介護事業所の支援力向上プログラムの開発及び評価	2,800,000円
26	東京都	特定非営利活動法人ADDS 共同代表 竹内 弓乃 (たけうち ゆの)	発達障害児に対する早期療育のためのロボットとvirtual realityを活用した人材育成プログラムの開発事業	4,000,000円
27	東京都	特定非営利活動法人ジャパンマック 代表理事 岡崎 直人 (おかざき なおと)	依存症者回復支援施設におけるギャンブル依存症者に対する支援プログラムの調査研究事業	2,200,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	東京都	公益財団法人日本ダウン症協会 代表理事 玉井 邦夫 (たまい くにお)	ダウン症の専門家と支援者のネットワーク構築、広範な領域をカバーした「第1回日本ダウン症会議」の開催	2,000,000円
29	京都府	同志社大学社会学部 准教授 永田 祐 (ながた ゆう)	困難を抱えた子どもに対する分野を越えた多様な主体の連携・協働による地域福祉実践プロセスの研究	3,500,000円
30	東京都	一般社団法人ハビリスジャパン 理事長 長野 洋 (ながの ひろし)	上肢欠損小児の運動用義手のニーズと有効性に関する研究および総合的な普及支援事業	5,300,000円
31	兵庫県	関西労災病院神経内科 部長 野崎 園子 (のざき そのこ)	Information Communication and Technology (ICT) による在宅摂食嚥下リハビリテーションの有用性の検討	1,500,000円
32	神奈川県	一般社団法人 スローコミュニケーション 代表理事 野澤 和弘 (のざわ かずひろ)	知的障害者への合理的配慮提供の促進のための研究事業ー「わかりやすい言い換え用例集」の作成を通してー	3,000,000円
33	長崎県	長崎大学生命医科学域 教授 平野 裕子 (ひらの ゆうこ)	インドネシアにおける日本向け介護職者送出しプログラム構築に関する基礎的研究	1,800,000円
34	埼玉県	一般社団法人 レインボーフォスターケア 代表理事 藤 めぐみ (ふじ めぐみ)	社会的養護のもとで暮らす性的マイノリティ (LGBT) 児童の対応に関する調査プロジェクト	2,000,000円
35	東京都	日本医科大学大学院医学研究科 准教授 布施 明 (ふせ あきら)	東京五輪に対応したSNSによる熱中症サーベイランスとアクティブ・サポートに関する研究	2,800,000円
36	大阪府	公益社団法人子ども情報研究センター 代表理事 森山 康浩 (もりやま やすひろ)	児童養護施設への市民訪問アドボカシーモデルの開発	2,100,000円
37	東京都	東京大学医学部附属病院 助教 和田 明 (わだ あきら)	22q11.2欠失症候群を持つ当事者とその家族へのニーズ調査と支援ガイドの作成	2,000,000円
38	東京都	特定非営利活動法人キッズドア 理事長 渡辺 由美子 (わたなべ ゆみこ)	子どもの貧困解決に向けてー教育格差の要因分析と貧困の連鎖を断ち切る学習支援方法の研究開発	2,800,000円
合 計				38 件
				90,000,000円

第49回（平成30年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	東京都	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 ストレス研究室長 安藤 哲也（あんどう てつや）	摂食障害の効果的な治療法の普及に関する研究	1,800,000円
2	東京都	国立精神・神経医療研究センター病院 研究員 池澤 聡（いけざわ さとる）	小児がん患児への認知機能トレーニングの導入と効果の検討	2,450,000円
3	東京都	一般社団法人 ユニバーサル志縁センター 代表理事 池田 徹（いけだ とおる）	社会的養護下やそれに準ずる困難な家庭で育った若者の就労自立支援スキーム構築のための調査研究事業	1,500,000円
4	愛知県	名古屋大学学生相談総合センター 心の発達支援研究実践センター 助教 井戸 智子（いどう ともこ）	障害学生（者）の就労支援のための包括的な就労査定・移行支援・調整プログラムのパッケージ開発	2,200,000円
5	岡山県	岡山大学病院 助教 井上 真一郎（いのうえ しんいちろう）	地域医療に資する一般病院におけるポリファーマシーに関する処方適正化システムの確立	800,000円
6	東京都	東京大学大学院情報理工学系研究科 准教授 入江 英嗣（いりえ ひでつぐ）	ドローンおよびモバイルコンピュータを用いた視覚障害者外出支援システムの研究開発	3,600,000円
7	京都府	同志社大学商学部 准教授 瓜生原 葉子（うりゅうはら ようこ）	次世代を中心とした行動変容を促す科学的手法の開発と実装による検証体系的な臓器提供意思表示率の改善	4,300,000円
8	大阪府	関西福祉科学大学社会福祉学部 教授 遠藤 洋二（えんどう ようじ）	児童養護施設等における児童間性暴力の予防・発見・対応に関する実践モデル開発に関する研究	2,750,000円
9	大阪府	大阪大学大学院医学系研究科 博士課程後期 大村 優華（おおむら ゆうか）	介護者アシスト機能を有する体位変換装置の開発に向けた看護ケアの検証	900,000円
10	埼玉県	埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授 小川 孔美（おがわ くみ）	地域連携・協働を基盤とした住民主体による課題解決力強化のための包括的相談支援体制モデルの構築	2,100,000円
11	東京都	上智大学総合人間科学部 准教授 笠原 千絵（かさはら ちえ）	本人リサーチャーと開発するくらし・たすけあいフォーマット：将来の暮らしに関するインクルーシブ調査	2,700,000円
12	京都府	京都大学大学院医学研究科 教授 木下 彩栄（きのした あやえ）	公共の場・家庭において認知症患者が使いやすいプロダクトデザインについての研究	1,800,000円
13	熊本県	崇城大学工学部 助教 古賀 元也（こが もとや）	車いすナビゲーション・システムの実用化に向けた議論、計画、実行そして有用性の検証ー参加型福祉のまちづくりの実現のための実践的取り組みー	5,000,000円

[名称（個人・団体）50音順、以下同じ。]

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	東京都	公益財団法人東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野 研究員 古田島 浩子 (こたじま ひろこ)	覚せい剤依存患者の社会復帰支援に向けた行動療法と薬剤投与の併用効果の検討	2,800,000円
15	東京都	国立成育医療研究センター研究所 研究員 小西 瑞穂 (こにし みずほ)	食物アレルギー児の治療アドヒアランス向上プログラムの作成ー増加する食物アレルギーの治療への貢献ー	2,350,000円
16	東京都	日本社会事業大学社会福祉学部 教授 斉藤 くるみ (さいとう くるみ)	アジアの被災地を結ぶ聴覚障害者支援ネットワークのモデル構築とツール開発	1,800,000円
17	茨城県	筑波大学システム情報系 教授 酒井 宏 (さかい こう)	被虐待児童へのアートセラピーの適応：認知神経科学による現象理解と有効なアートの提案	2,600,000円
18	東京都	東京大学大学院医学系研究科 博士課程後期 鈴木 征吾 (すずき せいご)	学校内での医療的ケアが児童生徒の健康関連QOLに及ぼす影響についての縦断研究	1,700,000円
19	静岡県	浜松医科大学大学院医学系研究科 教授 武田 江里子 (たけだ えりこ)	在日外国人に対する子育て支援のあり方の検討：母親の気質に応じたリーフレットと相談窓口の有用性	1,900,000円
20	新潟県	新潟大学医歯学総合病院 病院講師 竹中 彰治 (たけなか しょうじ)	要介護高齢者を支える家族の口腔ケアの省力化を実現する製品の開発と在宅介護用口腔ケアガイドラインの作成	2,000,000円
21	東京都	東京大学大学院医学系研究科 准教授 武村 雪絵 (たけむら ゆきえ)	コンピテンシーモデルを用いた3層リフレクションによる看護管理者の能力開発プログラムの評価：準実験研究	1,950,000円
22	東京都	東京大学医学部附属病院 講師 問田 千晶 (といだ ちあき)	小児多数傷病者に対応可能な診療システムの開発研究	2,600,000円
23	茨城県	筑波大学医学医療系 教授 徳田 克己 (とくだ かつみ)	高齢者にみられるペットロス症候群を予防するためのペット依存生活の改善方法の開発	1,200,000円
24	神奈川県	慶應義塾大学総合政策学部 准教授 中室 牧子 (なかむろ まきこ)	質の高い幼児教育は、子どもの就学期の学力や生きる力にどのような影響を与えるのか	5,400,000円
25	千葉県	千葉大学大学院医学研究院 特任准教授 橋本 佐 (はしもと たすく)	周産期から取り組む包括的児童虐待防止システム構築のための調査研究	2,700,000円
26	岡山県	岡山大学全学教育・学生支援機構 学生総合支援センター 准教授 原田 新 (はらだ しん)	発達障害特性の強い大学新入生への移行支援：漫画教材を活用した大1コンフュージョン予防対策プロジェクト	1,700,000円
27	京都府	京都大学総合臨床教育・研修センター 助教 肥田 侯矢 (ひだ こうや)	大腸がん患者の就労継続および職場復帰に資する研究	2,700,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	福島県	福島県立医科大学医学部 講師 日高 友郎 (ひだか ともお)	放射性廃棄物の中間貯蔵施設整備により故郷を喪失する住民に対する心理支援に向けたニーズ調査研究	1,200,000円
29	三重県	鈴鹿医療科学大学保健衛生学部 教授 藤原 正範 (ふじわら まさのり)	司法に関わるソーシャルワーカーの研修プログラムの開発	2,500,000円
30	千葉県	千葉大学大学院看護学研究科 特任准教授 前原 邦江 (まえはら くにえ)	生殖補助医療によって妊娠した女性とかかわる看護職者に向けた研修プログラムの開発	1,400,000円
31	兵庫県	甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 教授 丸 光恵 (まる みつえ)	イスラム看護指針およびムスリム患者対応能力アセスメント指標の作成：医療における多文化共生を目指して	2,500,000円
32	兵庫県	NPO法人宝塚高次脳機能障害者共生の会 地域活動支援センターWakaba 施設長 宮原 智子 (みやはら ともこ)	高次脳機能障害者の障害の気づきに影響を及ぼす要因の検討	900,000円
33	岩手県	岩手医科大学医学部 講師 八木 淳子 (やぎ じゅんこ)	東日本大震災後に誕生した子どもとその家族への縦断的支援研究－子どもの発達の多角的評価と包括的支援－	3,500,000円
34	東京都	特定非営利活動法人ReBit 代表理事 薬師 実芳 (やくし みか)	多様な性についての学校教育が児童生徒に及ぼす効果について	1,800,000円
35	奈良県	社会福祉法人ぷろぼの 理事長 山内 民興 (やまうち たみおき)	AI手法により蓄積された就労支援のデータから障害者の職業準備力を規格化する調査・開発の取組	8,450,000円
36	大阪府	大阪大学医学部 教授 山崎 あけみ (やまざき あけみ)	市民との対話から探究する学童を育てている家族の食に関する多彩な家族保健機能	950,000円
37	新潟県	新潟大学工学部 准教授 渡辺 哲也 (わたなべ てつや)	視覚障害教育のための3Dプリンタによる立体日本地図の製作とその普及	1,500,000円
合 計				37 件 90,000,000円

第50回（2019年度）三菱財団社会福祉 事業・研究助成先一覧

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
1	東京都	一般社団法人日本司法通訳士連合会 (JLIA) 代表理事 天海 浪漫 (あまみ ろまん)	日本における「司法通訳士」資格認定 システムの開発	1,700,000円
2	神奈川県	東海大学健康学部 講師 市川 享子 (いちかわ きょうこ)	共生社会構築実践のひとつとしての、 サービス・ラーニング評価方法の開発	1,200,000円
3	神奈川県	東海大学医学部 教授 井上 玲子 (いのうえ れいこ)	小児がんピアサポーター養成研修会修 了生によるプログラム評価及び全国小 児がん拠点病院での研修事業の構築	1,700,000円
4	京都府	京都大学大学院医学研究科 教授 今中 雄一 (いまなか ゆういち)	介護現場におけるリスクとクライシス のマネジメントに関する組織文化の可 視化と変化の要因	3,400,000円
5	兵庫県	兵庫県立大学地域ケア開発研究所 教授 梅田 麻希 (うめだ まき)	身体合併症を有する精神障害者に対す る急性期医療：ミックスドメソッドに よる公平で効果的な医療ケアの検討	2,200,000円
6	新潟県	上越教育大学大学院学校教育研究科 助教 大宮 宗一郎 (おおみや そういちろう)	精神保健福祉センターにおいて薬物依 存回復プログラムを提供する社会的意 義についての研究	2,900,000円
7	東京都	国立精神・神経医療研究センター精神 保健研究所 室長 加賀 佳美 (かが よしみ)	限局性学習症児におけるワーキングメ モリ障害の病態解明とその支援プログ ラムの開発	1,300,000円
8	広島県	特定非営利活動法人風の家 理事長 大原 嘉樹 (おおはら よしき)	自立が困難な矯正施設退所者の社会復 帰に資する動的要因の保護因子に関す る調査研究事業	1,500,000円
9	東京都	国立成育医療研究センター臓器移植セ ンター 研究員 金澤 郁恵 (かなざわ いくえ)	小児肝移植患者における青年期以降の 日常生活の実態と支援ニーズに関する 研究	1,300,000円
10	大阪府	大阪教育大学特別支援教育講座 特任教授 金森 裕治 (かなもり ゆうじ)	ブラジル人の児童に対する日本語指導 におけるデジタル教材の開発	2,000,000円
11	兵庫県	全国頸髄損傷者連絡会 会長 鴨治 慎吾 (かもじ しんご)	頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関 する実態調査2020	2,350,000円
12	神奈川県	横浜市立大学大学院国際マネジメント 研究科 准教授 黒木 淳 (くろき まこと)	小児医療政策の社会経済インパクトに 関する研究	2,900,000円
13	京都府	社会福祉法人全国手話研修センター 代表 黒崎 信幸 (くろさき のぶゆき)	こども手話検定試験（仮称）の実施に ついて	6,800,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
14	千葉県	JUMP (Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team) 代表 斎藤 久子 (さいとう ひさこ)	日本の大規模災害における身元確認システムーDVI(Disaster Victim Identification)ー体制構築のための事業	1,700,000円
15	宮城県	東北大学東北アジア研究センター 教授 佐藤 源之 (さとう もとゆき)	日本の技術による人道的地雷除去とカンボジア農村の環境・経済復興支援	2,500,000円
16	千葉県	東京歯科大学市川総合病院 准教授 宗 未来 (そう みらい)	重症・遷延性の神経性やせ症患者に対する家族焦点型集団家族療法の傾向スコア分析を用いた効果検証	6,300,000円
17	東京都	東京大学先端科学技術研究センター 講師 高橋 麻衣子 (たかはし まいこ)	不登校・不登校傾向にある児童・生徒の認知特性に応じた学びの支援に向けた調査研究	1,100,000円
18	山梨県	一般社団法人星つむぎの村 代表理事 高橋 真理子 (たかはし まりこ)	病院がプラネタリウムーフライングプラネタリウムですべての人に星空を	1,700,000円
19	茨城県	筑波技術大学保健科学部 教授 巽 久行 (たつみ ひさゆき)	網膜投影を用いた情報保障による弱視向き電子白板システムの開発	2,100,000円
20	新潟県	新潟薬科大学健康推進連携センター 教授 富永 佳子 (とみなが よしこ)	地域における薬剤師と管理栄養士との連携体制(薬栄連携)の基盤構築	1,900,000円
21	東京都	一般財団法人日本福祉力検定協会企画室 室長 長田 奉公 (ながた ともひろ)	AIスピーカーを使用したパターン介護記録の実証実験	3,800,000円
22	岐阜県	岐阜保健大学看護学部 講師 中谷 こずえ (なかたに こずえ)	受刑者・元受刑者への社会復帰に根ざした行動変容を促す健康維持・増進ケア実践モデルの開発	5,200,000円
23	静岡県	やきつべの径診療所 代表理事 夏苺 郁子 (なつかり いくこ)	精神科医療が変わるには何が必要か？当事者・家族6000人の実践知と経験知を通しての提言	2,600,000円
24	大阪府	NPO法人Reジョブ大阪 理事 西村 紀子 (にしむら のりこ)	失語症者向けに、テレビ会議システムzoomを用いたオンライン言語療法の効果と問題点の研究	850,000円
25	宮城県	東北大学大学院法学研究科 助教 根岸 謙 (ねぎし けん)	任意後見契約に内在する契約関係者の利害意識についての分析ー真に認知症高齢者のための制度を目指してー	1,700,000円
26	東京都	東京都健康長寿医療センター研究所社会参加と地域保健研究チーム 研究員 野中 久美子 (のなか くみこ)	多世代住民間での自然発生的な互助が生まれる機序の解明	3,800,000円
27	茨城県	筑波大学医学医療系 講師 浜野 淳 (はまの じゅん)	在宅非がん高齢者における包括的な苦痛緩和の実態解明のためのコホート研究	2,200,000円

番号	所在地	名 称	使 途	金 額
28	東京都	慶應義塾大学医学部 専任講師 浜本 康夫 (はまもと やすお)	進行がん患者が「難民化」する要因に関する研究	2,400,000円
29	東京都	一般社団法人日本うつ病センター 名誉理事長 樋口 輝彦 (ひぐち てるひこ)	精神疾患治療ガイドラインと実地診療の相違の検証	5,500,000円
30	東京都	武蔵大学社会学部 准教授 人見 泰弘 (ひとみ やすひろ)	日本型難民社会統合政策の構築に向けた総合的調査研究－インドシナ難民受け入れ事業40年間の分析から	1,500,000円
31	茨城県	筑波技術大学産業技術学部 教授 平賀 瑠美 (ひらが るみ)	聴こえる音楽、好きな音楽を見つける－聴覚障害者の音楽聴取の機会を増やすために	1,200,000円
32	東京都	東京農工大学大学院工学府 博士後期課程 平松 勲 (ひらまつ いさお)	視覚障害者のICT分野の教育訓練を支援するシステムに関する研究	2,100,000円
33	東京都	一般社団法人日本医療通訳士会 代表理事 藤上 理奈 (ふじがみ りな)	統合的、実践的医療通訳教材創出のための中国語医療通訳総合データベースの構築	750,000円
34	東京都	聖路加国際大学公衆衛生大学院 講師 星野 絵里 (ほしの えり)	AI搭載のスマホアプリによる胆汁うっ滞系小児慢性特定疾病のスクリーニング法の開発と実証研究	1,700,000円
35	長野県	信州大学医学部 教授 本田 秀夫 (ほんだ ひでお)	保健・福祉・医療のネットワークを活用した発達障害の「グレーゾーン」の子どもの保護者支援に関する研究	4,250,000円
36	埼玉県	埼玉医科大学医学部 教授 前田 卓哉 (まえだ たくや)	我が国に居住する南米出身者のシャーガス病罹患状況調査と診療支援体制の構築	1,200,000円
37	大阪府	特定非営利活動法人チャイルド・リソース・センター 代表理事 宮口 智恵 (みやぐち ともえ)	児童虐待による分離後の親子関係再構築支援に関する支援モデルの研究	2,300,000円
38	茨城県	筑波大学医学医療系 准教授 柳 久子 (やなぎ ひさこ)	外国人介護職者の持つ仕事への情熱と幸福感に基づく人材育成に関する研究	850,000円
39	石川県	NPO法人あかりプロジェクト 代表理事 山口 いづみ (やまぐち いづみ)	家から地域へ！摂食障害者の居場所づくり2ndステップー思わず外に出たくなるプログラム2種の開発	1,550,000円
40	東京都	特定非営利活動法人ボルノ被害と性暴力を考える会 理事長 金尻 カズナ (かなじり かずな)	意に反し拡散した性的画像記録の削除要請自動化プロジェクト	3,800,000円
41	東京都	認定特定非営利活動法人NPO会計税務専門家ネットワーク 理事長 脇坂 誠也 (わきさか せいや)	公益法人等が実施する福祉サービスに関する法人税課税問題の調査研究	2,200,000円
合 計				100,000,000円